



高崎市議会

新風会報

SHINPU KAIHO

令和8年冬号

発行所 高崎市議会新風会広報局
発行責任 新風会広報局
〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpuikai.com/

12月定例会のご報告

11月28日から12月15日まで18日間の会期で開催されました。専決処分、特別会計補正予算議案などが上程され、付託された38番地議案については各常任委員会並びに特別委員会において審査されました。公の施設(斎場・福祉作業所・長寿センター等)の指定管理者の指定、一般会計補正予算では人事院勧告による人件費補正追加議案を含め歳入歳出

要望実現へ!

放課後児童クラブ支援員の給与増額 来年度より

新風会より令和8年度予算の要望としていた「放課後児童クラブの総合的支援拡充と支援員の処遇改善」について、8年度から新たな補助制度を新設する方針を市が示しました。市としては、放課後児童クラブにおける「支援員の確保」について、その対応を検討してきたとして、以下の給与改善を行うと説明しています。

新風会からのごあいさつ

皆様には、2026年の新年を健やかに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、暑い夏を過ぎ、短い秋から一気に冬の様相へと移り変わるなど、季節の変化を強く感じる一年となりました。また、MLBでは日本人選手の活躍が多くの人々の心を躍らせた。恒例の「今年の漢字」は「熊」と発表され、全国各地で問題となっている熊被害の軽減にも期待が寄せられています。12月17日には、総合経済対策として18兆3千億円規模の補正

予算が可決され、臨時国会も閉幕しました。これらの施策が速やかに市民生活並びに本市事業に効果として表れることを期待しております。今年は午年であり、力強く躍動感あふれる年、物事が順調に進み好運が訪れる年とされています。また、60年に一度の丙午の年でもあり、力強いエネルギーで道を切り開く縁起の良い年となることが期待されます。会員一同、本年も全力で活動に取り組みでまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本市の治水機能増強にむけて

新風会提案の意見書(案)が可決 国土交通大臣に提出へ

新風会では12月の定例会に、「気候変動の影響を踏まえた治水機能増強のための迅速な調査をを求める意見書」を提出し、審議の結果、本会議で可決されました。根岸赴夫議長名で、国土交通大臣および、国土交通省関東地方整備局長に提出されました。

用語解説「意見書」

地方自治法99条で「普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる」と定められています。これは、住民の意見や要望を反映させるための重要な手段であり、議会の議決を経て提出されます。これにより、地方議会は自らの意思を国の政策や関係機関に直接伝えることができます。地方議会は法人格を持たないため、請願や陳情を提出する権限がない一方で、この意見書の提出権が認められています。議員が発案し、本会議での議決を経て、議長名で国会または関係行政庁などに提出されます。

気候変動の影響を踏まえた治水機能増強のための迅速な調査を求める意見書

近年の気候変動により、台風の大型化や線状降水帯などによる集中豪雨で、全国各地で激甚な水害が頻発している。このような気象災害のリスク増大に備えるため、市民の生命と財産を守る治水対策は重要性を増しており、喫緊の課題となっている。

令和元年東日本台風接近の際、鳥川では氾濫危険水位を超える出水となり、本市にも初めて大雨特別警報が発せられるなど、記録的な大雨により、市内で63か所の避難所に3,300人を超える市民が避難したほか、道路の冠水や住宅の浸水被害、橋梁の流出や河川護岸の崩落など多数の被害が発生した。

国土交通省関東地方整備局においては、気候変動の影響を考慮し、令和6年7月に変更した利根川水系河川整備基本方針を踏まえ、当面の河川整備の内容を定めた利根川水系利根川・江戸川河川整備計画を令和7年3月に変更し、この中で利根川上流部における洪水調節機能のさらなる強化のため、「治水機能増強検討調査」の実施が盛り込まれた。

これを受け、今年度から開始された調査では、事前放流のさらなる活用や放流操作の最適化、治水・利水の容量の見直しなど、既存ストックを最大限に活用した洪水調節の検討を実施するとともに、検討の結果、ダムの改造・新設による洪水調節が必要となる場合には、過去に中止となったダム等についても選択肢から排除せず検討を進めることとされている。

本市には、過去に建設事業が中止となった倉測ダムがあり、既に用地買収、付替道路工事等が完了し、早期に安価で整備が可能であるこのダムを選択肢として調査を進めることで、流域の治水安全度の向上が期待され、地域の活性化にも資することが可能であると考えている。こうしたことから、倉測ダムの事業再開を治水機能増強検討調査に盛り込み、調査を迅速に進めることが重要であると考えている。

よって、国においては、下記の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 早急にかつ、安価に治水安全度の向上が期待できる建設事業が中止となった倉測ダムについて、検討対象とすること
2 本市を含む鳥川下流域の治水安全度の向上にも役立つ調査とすること
3 農業用水の取水など、水利用に配慮すること
4 再生可能エネルギーの有効活用により地域の活性化に資すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年 12月 15日

高崎市議会議長 根岸 赴夫

国土交通大臣
国土交通省関東地方整備局長 } あて

会派視察三重県アクアイグニス



高崎玉村スマートIC周辺にはパーク型商業施設「BETTER DAYS」が整備予定となっております。

手がける施設については、当プロジェクトにおける施設づくりや世界観に大きな影響を与えることが予想されることから、今後の整備の参考とするため現地視察を行いました。

全国市議会議長会研究フォーラム



第20回全国市議会議長会研究フォーラムが札幌文化芸術劇場hitaruで開催されました。

「多様な人材の参画促進の観点から地方議員のなり手不足問題を考える」と題し、コーディネーターとして辻陽氏（近畿大学法学部教授）...

高崎市児童相談所の開所について



昨年10月1日、高崎問屋町駅前高崎市児童相談所が開所しました。

高崎市児童相談所は、駅前という立地に調和した落ち着いた感じのある建物で、子どもたちが描いた壁画が来所者を温かく迎えています。

新労使会館オープン



令和5年4月から建て替えのため休館していた労使会館が、11月2日に開館記念式典を無事に迎えることができました。

- 住所：高崎市東町80-1
開館時間：午前9時から午後9時30分
アクセス：JR高崎駅東口より徒歩約6分

流域治水についての研修

北海道開発局においては、昨今気候変動などにより激甚化する水害対策が北海道ではどのようになされているかについて「北海道の河川整備と流域治水について」と題し...



再生事業（雨竜川ダム再生）、「流域治水対策（森林整備の連携）」、「水田貯留（田んぼダム）」、「学校・公園の雨水貯留浸透施設」...

議会こぼれ話

第1回 政治活動用の立札・看板と証票について

みなさんが町を歩いていると、「後援会連絡所」や「連絡所」といった立て看板を見かけることがありますよね。



市長や市議会議員の場合、この証票を貼った看板は、現職本人（または候補者）と後援団体を合わせて最大12枚までしか設置できません。

# 一般質問

※以下、質問順で掲載しております。こちらに掲載している内容は、質問と答弁の一部です。全文および録画配信が高崎市議会ホームページにて随時アップされますので、そちらも是非ご覧くださいませ。

**執**：執行部答弁  
**議**：議員発言



松本 賢一

**議** 手話言語条例施行後の施策は。

**執** 手話イベントを毎年開催。令和3年度から障害者支援SOSセンターに手話通訳士2名を配置して、手話通訳者派遣事業を運営。同年高崎市テレビ電話遠隔手話サービスを開始。災害時に意思疎通を支援するためのボードを避難所に設置。また、災害時障害支援バンドナを配備した。

**議** 聴覚障害者関係3団体からの手話リンクの設置要望への対応は。

**執** 手話リンクは一般財団法人日本財団が提供するサービスで、利用者が自身のスマートフォン等で自治体のホームページに設置したボタンを押すだけで手話通訳オペレーターを介して自治体の窓口へ電話できるというもの。聴覚障害者の情報保障手段として有益である。導入に向け検討する。

**議** 9月23日の手話言語の国際デーに合わせた啓発の実施は。

**執** 高崎アリーナと高崎白衣観音でブルーライトアップを行った。今後もライトアップ場所の拡充等について検討する。

松本 賢一  
録画配信



樋口 哲郎

**議** 防災行政無線の運用状況と設置箇所数および故障箇所数は。

**執** 箕郷、新町、榛名、吉井の各地域において、合併前に整備した無線で、火災情報や時報、有害鳥獣に関する情報などに活用している。設置箇所数は、箕郷地域が17カ所、新町地域が25カ所、榛名地域が96カ所、吉井地域が60カ所である。現在の故障箇所数は、箕郷地域が3カ所、新町地域が1カ所、榛名地域が3カ所、吉井地域が12カ所である。

**議** 防災行政無線の使用に係る今後の見通しは。

**執** 防災行政無線は、電波法令の改正で、使用できる期間が、令和4年11月までとされた。しかし、先のコロナ禍を踏まえた社会への影響等から、令和3年8月に経過措置として、使用できる期間が「当分の間」と改正された。今後も引き続き、使用可能な期間の範囲内で運用。

**議** 毎日慣れ親しんだ住民からすれば生活の一部である。まずは故障している無線の出来るだけ早い修繕と、引き続きの運用をお願いする。

樋口 哲郎  
録画配信



高橋 淳

**議** 持続可能な高崎市のまつりについて

**議** 本市で開催されるさまざまな「まつり」について、その果たすべき役割は。

**執** 地域のにぎわいを創出し、観光振興や中心市街地の活性化を通じて地域経済の活性化を図るとともに、市内外の人々の交流の機会を提供し、伝統文化の継承や都市ブランド力の向上につなげることも重要な役割と考える。

**議** 高崎まつりに対する市からの補助金額は。

**執** 令和6年度の当初予算額は5,000万円で、決算では1,960万円の増額となった。これは熱中症対策の強化に加え、物価や人件費の高騰に対応する経費が増加したためであり、特に大花火大会の諸経費高騰が影響している。

**議** 本市最大の活力の象徴である高崎まつりを今後も確実に実施するため、補助金の増額を要望する。また、高崎市のさまざまな「まつり」の持続可能性を高めることは、地域コミュニティの維持や多世代交流の促進につながる。本市のさらなる活力向上に寄与する。今後も現場の声を踏まえ、財政、人材面での支援強化を求める。

高橋 淳  
録画配信



大河原 吉明

**議** 本市における有害鳥獣対策について

**議** 本市において熊が出没した際には、どのような対応をしているのか。

**執** 本市で出没した熊は、市と猟友会で組織する鳥獣被害対策実施隊で対応をしている。目撃現場を確認し、現場に熊の姿がない場合でも、目撃情報や現場確認に基づき、安心ほつとメールの配信や、スピーカー車、防災無線により市民への注意喚起を行うとともに、地元区長や教育機関へ連絡する。また、周辺の被害状況や痕跡に応じて箱わなを設置して捕獲を試みる。現場に熊がいる場合には、市民への注意喚起や安全への配慮とともに、音を鳴らすなどして追い払いを試みるが、追い払いができない場合には、周囲の状況を確認し、猟銃や麻酔銃による捕獲を検討する。このように、市民の安全を最優先に考慮し、関係機関と連携しながら対応している。

**議** 今後、本市においても熊を目撃することが増えていくことは十分に考えられるので、さまざまな取り組みを通じて、本市の有害鳥獣対策を進めてほしい。

大河原 吉明  
録画配信



長壁 真樹

**議** 本市の農業振興について

**議** 荒廃農地面積と解消に向けての取り組み状況は。

**執** 再生された農地が増える一方、新たな発生もあり、約620ha。農地再生推進事業により過去4年間で54ha、11月末まで11haを再生している。

**議** 農業者の確保、貸借のマッチングならびに集落営農等への機械更新の支援は。

**執** かがやけ新規就農者応援給付金等により取り組んでいる。地域計画によるマッチングを農業委員会等と協力し実施している。機械更新には補助率3分の1、上限200万円まで支援している。

**議** 継続のために機械更新の助成をこれまで以上に国県に働きかけていただきたい。

**議** 本市の市営住宅について

**議** 入居状況と共益費の認識は。

**執** 入居率81〜82%で推移、共同で利用する共用部分の使用や維持管理にかかる費用で、団地により共用施設の種類や状況が違い、共益費の負担もさまざまである。

**議** 共益費については調査とともに、入居率の低い団地では共益費が増加しているため、特区扱いとして入居要件の緩和や50%を切った場合には何らかの助成を考慮していただきたい。

長壁 真樹  
録画配信



青木 和也

**議** 本市における農業振興について

**議** 地域計画の目的と本市における策定状況は。

**執** 地域計画は、農業者に加え農業委員会やJA等の関係者が協議し、地域農業の将来像や農地利用を明確にしたものである。本市では法改正に基づき、29の人・農地プランに基づき、13の地域計画を策定し、年2回の協議により継続的な見直しを行うこととしている。

**議** 地域計画に地域内の農業を担う者として位置付けられている農業者は、具体的にどのような構成か。

**執** 地域計画では、地域農業の担い手を認定農業者、認定新規就農者、水準到達者、その他農業者の4区分としている。本市の担い手は519経営体で、そのうち認定農業者257経営体、認定新規就農者41経営体、水準到達者25経営体と、全体の約62%を占めている。将来の利用が想定される農用地約1074haのうち約880ha、約82%はこれから主要な担い手が利用する計画となっている。

**議** 今まで築き上げてきた高崎の農業を大切にしながら、地域計画の不断の見直しと実効性の確保等、本市の積極的な農業振興施策を期待している。

青木 和也  
録画配信

沖縄「群馬之塔」慰霊参拝事業に参列して



過日、第57回沖縄「群馬之塔」慰霊参拝事業が執り行われ、新風会所属である高崎市議会の根岸赴夫議長が、群馬県市議会議長

会会長として参列しました。本事業は、沖縄戦をはじめとする戦禍により尊い命を落とされた群馬県出身の戦没者を慰霊するとともに、恒久平和を祈念する大切な取り組みです。

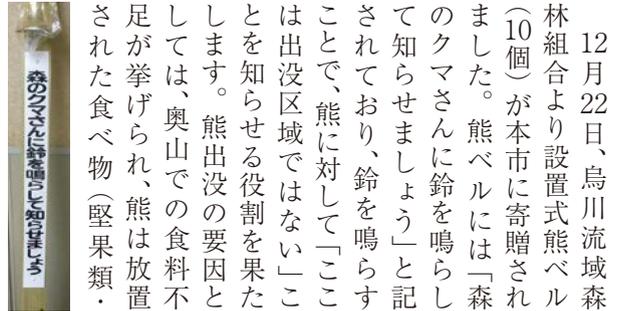
沖縄戦は、大東亜戦争末期に沖縄本島および周辺離島において、約90日にわたり展開された日米両軍による最後の大規模な戦闘でした。その戦場となった地に、沖縄や南方諸地域等で戦死された群馬県出身者を慰霊し、世界平和を祈念するため、「群馬之塔」は昭和37年に建立されました。沖縄本島最南端の平和記念公園内にある「群馬之塔」。これまで、この場所に群馬県出身者の慰霊碑があることを知らずにいたことに、恥ずかしさとともに、戦争で尊い命を失われた英霊に対して申し訳ない思いを抱きました。若くして犠牲となられた多くの御霊がこの地に眠っていることを思うと、胸に迫るものがあります。古くから交通の要衝として発展してきた高崎市は、近年では高崎駅を中心に、高崎芸術劇場や高崎アリーナ、Gメッセ群馬などの大型施設が整備され、さらなる賑わいを見せています。戦争という過酷な時代を生きた当時の人々が、現在の高崎の姿を想像できたでしょうか。私たちが享受している平穏な日常は、英霊の尊い犠牲の上に成り立っていることを、決して忘れてはなりません。戦後80年が経過し、戦争体験者が年々減少する中、今回の慰霊参拝は、過去の過ちを二度と繰り返さないという決意を改めて胸に刻む、貴重な機会となりました。新風会としても、平和の尊さを心に刻み、次代へと確かに引き継いでいく責任を果たしてまいります。

踏切事故を受けた安全対策の進捗について

令和6年4月に、高崎市内の踏切で発生した痛ましい事故を受け、高崎市では警報機や遮断機のない第四種踏切について「原則廃止」の方針を示し、7年度から5カ年計画で第四種踏切の解消に向けた取り組みを進めています。先行して6年度には、利用実態が少なく地域の理解を得られた金比羅様踏切(新後閑町)と磯部踏切(山名町)が閉鎖されました。7年度は踏切の第一種化が本格的に進み、

11月14日に山名踏切(山名町)、12月19日に天水踏切(吉井町小暮)で警報機と遮断機が設置されました。残る馬庭東踏切(吉井町馬庭)と吉井川踏切(吉井町下長根)についても、7年度内の第一種化が予定されています。今後の方針が明確になっていない第四種踏切は、市内に15カ所残っています。新風会としても、市民の安全を最優先に、対策が着実に進むよう引き続き取り組んでまいります。

熊ベル寄贈を受けた熊出没対策の強化



12月22日、烏川流域森林組合より設置式熊ベル(10個)が本市に寄贈されました。熊ベルには「森のクマさんに鈴を鳴らして知らせよう」と記されており、鈴を鳴らすことで、熊に対して「ここは出没区域ではない」とことを知らせる役割を果たします。熊出没の要因としては、奥山での食料不足が挙げられ、熊は放置された食べ物(堅果類・柿)や、安心して身を隠せる手入れの行き届いていない藪、河川などのコリドー(緑の回廊)を經由して、人家周辺にも出没していると考えられています。熊は24時間活動し、聴力は高音が聞き取りやすく、嗅覚は犬の約6倍とも言われています。今回寄贈された熊ベルは、自然歩道や登山道の入口などに設置される予定であり、熊との不意の遭遇による被害軽減の一助となることが期待されます。

高崎市熊対策

全国的に熊による被害が多発しており、市民の安心安全な生活が脅かされています。これまでも本市では、さまざまな熊対策を行ってきましたが、この度、さらなる対策として新たに2つの取り組みを開始します。

1つ目は、熊出没情報の一元化を図るため、専用ダイヤル「高崎市クマ出没SOS緊急ダイヤル」を開発します。このダイヤルにより、熊出没時の対応を迅速に実施します。熊を見かけた方は緊急ダイヤルへ通報してください。

2つ目は、ドローンを活用した熊対策です。赤外線カメラ搭載ドローンで目撃情報周辺を調査することで、生息状況を確認します。また、出没が増える春から夏にかけて、スピーカー搭載ドローンによる追い払いについても研究を進めます。このように本市では、市民の安全を最優先に考慮して、関係機関と連携しながら熊対策を推進してまいります。

高崎市クマ出没SOS緊急ダイヤル
クマクマ
027-395-9090
土日祝日を含む
24時間対応

新風会所属議員一覧 ~市政に関するご相談はお近くの議員まで~

Table listing 16 council members with their names, titles, contact information, and photos. Includes members like 柴田 和正 (Chairman), 柄沢 高男 (Vice Chairman), 渡辺 幹治 (Vice Chairman), 松本 賢一 (Executive Director), etc.

高崎市議会 新風会
〒370-8501
群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
https://shinpukai.com/